

	【定住自立圏連携協定】 新発田市・胎内市と17事業	【連携中枢都市圏協約】 新潟市を中心に7市3町1村で31事業
趣旨	<p>圏域内での人口定住を促進するため、協定に基づき、中心市の都市機能と周辺市町の機能・魅力を活用し、相互の役割分担し、圏域の生活に必要な機能を確保する。</p>	<p>一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するため、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、高次の都市機能の集積・強化や圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図る。</p>
成果事例	<p>・事業成果あり：10件(R01年9月末時点)</p> <p>【在宅医療・介護連携推進事業】 医療圏域を同じくする市町が医療と介護の一体的な在宅サービスを連携実施することで、効率的な事業展開や、地域の実情に合わせた生活環境整備を実現する。 (R01実績) 圏域研修(2回：参加者69名、うち町2名)、町内研修(3回：参加者92名)、住民向けフォーラム開催(4月：参加者262名、うち町6名)等</p> <p>→ ネットワーク構築の根幹を担える人材や備品の確保、また多岐に及ぶ事業運営等、連携なしには実現困難であり、高い費用対効果を得られた。</p>	<p>・事業成果あり：8件(R01年9月末時点)</p> <p>【子育て支援パスポート利用促進事業】 妊婦及び小学生以下の子どもがいる保護者に対し発行する「子育て応援パスポート」について、連携市町村の協賛店舗でも特典を受けられるようにする。 (R01実績) H31年4月から新潟市、田上町、聖籠町の3市町で連携実施。(町内協賛店舗：8社)</p> <p>→ 初期費用を新潟市が負担したため、少ない予算で当制度を導入でき、また町民は連携市町村でも特典が受けられることから、子育て世帯の支援について高い費用対効果を得られた。</p>